



2024年度 鉄道安全報告書



上田電鉄株式会社

ごあいさつ

上田電鉄の安全報告書をご覧ください、誠にありがとうございます。

鉄道事業の運営にあたっては、お客さまに安心してご利用いただけるよう、日頃から安全を最優先に取り組んでおります。しかしながら 2023 年度は、鉄道運転事故（踏切障害事故）1 件を発生させてしまいました。二度と同種の事故を発生させないよう管理体制の強化、安全意識の向上を行い別所線の安全輸送の確保に努めます。事故にあわれた方、お客様をはじめ、多くの方にご迷惑をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

また、継続して対策の振り返りを行い、有効性を検証し、再発防止に取り組んでまいります。

安全を確保するには、事故を発生させないようリスクをしっかりと認識し対応していくことが重要であると考えております。本報告書は、このような考え方にに基づき、より安全性を高めるための方針や施策を報告するものです。

私どもは、鉄道をご利用のお客さまや沿線にお住いの皆様、加えて、社員や協力企業メンバーの「安全・安心」を確保し、地域から信頼される鉄道を目指して取り組んでまいります。本報告書でのお気づきの点やご意見などをお寄せいただければ幸いです。

2024年9月

上田電鉄株式会社
代表取締役社長 山本 修

1. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は、安全・安心の確保です。「安全方針」「行動規範」を次のように掲げ、社長以下従業員全員に周知・徹底しています。

【安全方針】

「安全の確保」は鉄道事業の最大かつ最重要の、お客さまに対する責務である。

その安全は、役職員一人ひとりがルールの意味を認識しかつ遵守し、正則作業を確実に遂行することによって支えられている。

私たちは鉄道事業を担う誇りを共に持ち、役職員相互の双方向コミュニケーションをしっかりと行い、安全の障害となる問題を一体となって速やかに解決し、このお客さまに対する責務を誠実に果たし社会に貢献する。

【行動規範】

- ①一致協力して輸送の安全確保に努める。
- ②輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正・忠実に職務を遂行する。
- ③常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努める。
- ④職務の遂行にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のあるときは最も安全と思われる取扱をする。
- ⑤事故、災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとる。
- ⑥情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。
- ⑦常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する。

(2) 安全目標

区 分	目 標
鉄道運転事故（衝突・脱線・火災等の有責事故）	発生させない
インシデント（鉄道運転事故が発生する恐れのある事態）	発生させない

(3) 重点施策

①問題点の早期把握による安全対策の推進

役職員相互の双方向コミュニケーションを活性化することにより、問題点を早期に把握し、迅速な対応を行う。

②事故情報の確実な伝達と対策実施による再発防止

自社および他社の事故情報を迅速、正確に職員に伝達し、必要な対策を速やかに実施する。また、過去の事故事例を踏まえ現在の状況を検証するとともに、必要により見直すことで同種事故の再発防止を図る。

③事故発生時の対応力向上

事故想定訓練を定期的実施し、その結果の振り返りや反省点をもとに対応に反映させることにより、各職員の事故対応力の向上を図る。

④管理監督者による事故防止の取組み

管理監督者による添乗指導等、現場作業への立ち合い実施により、気付き等を直接指導することで技能の向上と事故防止を図る。

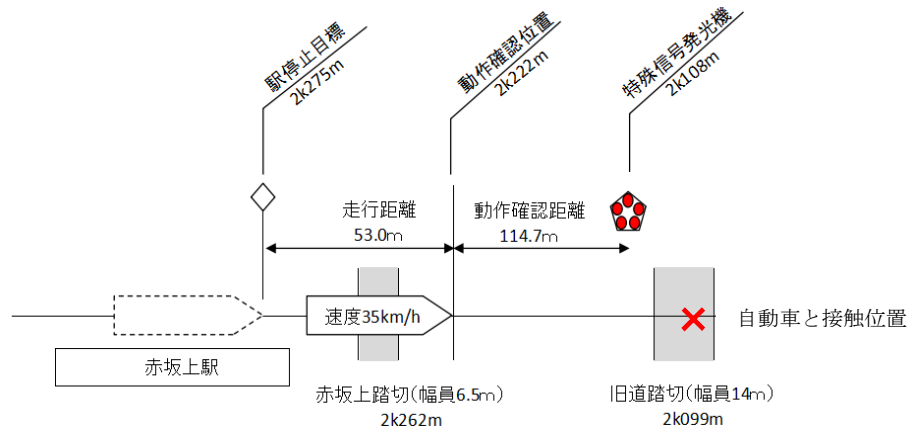
2. 事故等の発生状況とその再発防止措置（2023年度）

(1) 鉄道運転事故（踏切障害事故）

発生日時 2024年2月5日（月）19時37分頃

場所 別所線三好町駅～赤坂上駅間旧道踏切道（第一種踏切道※1）

概要 市道中之条下之郷線旧道踏切道上で、大雪の影響で乗用車のスリップの対処を複数人でしていたところ、踏切の鳴動が始まったため非常ボタンを操作（結果特殊信号発光機※2が動作）されました。同時刻、別所温泉駅発上田駅行き列車は赤坂上駅で停車中であり、運転士はお客様の乗降後電車を出発させましたが、その際、動作中の特殊信号発光機を見落とし、発車後53m進行したところで動作を確認し、非常制動の手配を執ったものの、レール上の積雪によるブレーキ力不足により約130m走行後踏切内の乗用車と衝突したものです。乗用車運転手他の方は踏切外へ退避しており、車内のお客様7名の方に怪我を負われた方はいませんでした。また、弊社運転士に怪我はありません。尚、踏切にある非常ボタンの操作は正しく行われ、特殊信号発光機も正しく動作しておりました。



原因

- ・赤坂上駅停車中、動作している特殊信号発光機が確認できず発車した。
- ・発車後に特殊信号発光機の動作を確認し、非常制動の手配を執ったが、雪の影響によるブレーキ力低下により停止出来ず、踏切道内に滞留していた自動車と衝突した。

※1 第一種踏切道：警報機と遮断機が設置されている踏切

※2 特殊信号発光機：非常ボタンを操作すると、赤色灯が反時計回りに回転しながら点灯し、列車に停止信号を現示するもの

今回の事故の再発防止対策

- 1) 降雪時の運転規制の見直し
- 2) 運転士の作業手順の見直し（踏切動作反応灯の起動前に確認）
- 3) その他降雪時の要員体制等の見直し

以上について北陸信越運輸局へ報告を行いました。

(2) 輸送障害（その他）

2023年度運輸局へ報告の輸送障害（30分以上の遅延や運休の発生）

項目	件数	概要
自然災害	2件	雷雲発生による運休4本 地震による運休2本
設備車両故障等	1件	電気設備故障による運休14本
第三者による支障	1件	踏切上に支障物落下運休8本

(3) インシデント

国土交通省へ報告する、インシデントの発生はありませんでした。

(4) 行政指導等

国土交通省による行政指導等はありませんでした。

(5) その他再発防止対策

・自然災害

雷害により故障した機器（保安器）の結線変更と保安器新設により保護水準を向上した。

・設備車両等故障

電気設備の検査表を見直し、取扱説明書にある検査項目を追加、また、同様他箇所全ての検査表見直しを実施した。

3. 安全確保の取組み

(1) 安全輸送対策工事

当社では安全安定輸送を継続するため、安全輸送対策に取り組んでいます。

2023年度安全工事概要

項目	事業費 (千円)	概要
安全投資（主なもの）	366,087	
鉄道軌道安全輸送設備等（国・県・市 協調補助）	365,083	
レール交換（硬頭レール化）	7,247	摩耗したレールを熱処理した強度の高いレールに更新
マクラギ交換（PCマクラギ化）	7,127	木マクラギをコンクリートマクラギ、または合成マクラギへ更新
道床交換（軌道道床硬質構造化）	4,830	道床碎石を交換するとともに、硬質構造化（路盤改良）を実施
踏切保安設備更新	17,969	老朽化した踏切制御装置・遮断機・警報機を更新
変電所設備更新（変圧器・整流器交換）	90,512	整流器用変圧器および電車用整流器の更新とPCB処分
橋梁補修（リベット交換）	1,450	支承部の緩んだリベットを高力ボルトに交換
車両定期検査	16,948	8年周期の車両全般検査
橋脚補強（千曲川橋梁P3橋脚）	219,000	橋脚基礎の拡幅
上田市安全対策事業（上田市単独補助）	1,004	
車輪削正	1,004	走行により摩耗した車輪を削り整える

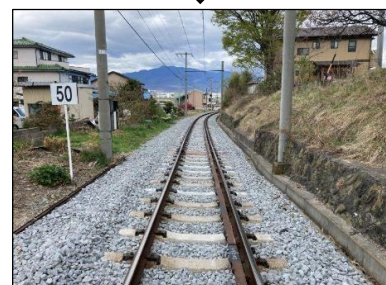
硬頭レール交換

神畑～大学前



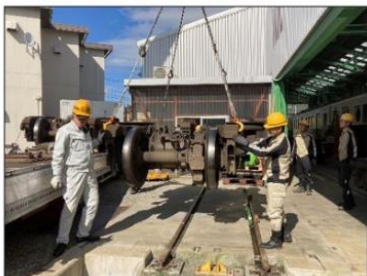
コンクリートマクラギ化および道床交換

三好町～赤坂上（R4年度からの継続区間）



車両定期検査

1001編成、1004編成(2編成計4両)



車輪削正

1003編成(2両)



橋脚補強

千曲川橋梁P3橋脚



踏切保安装置更新

中塩田～塩田町 宮浦踏切道



変電所設備更新

変圧器および整流器更新とPCB処分
下之郷変電所



橋梁補修

リベット交換 千曲川橋梁G4桁



(2) 人材教育

- ・新規就業者には各部門担当者により業務に関する教育を実施、鉄道係員としての基礎知識を習得させています。
- ・運転、駅、技術の各担当係員には年間の教育訓練計画をもとに教育を行い、知識の充実、技術・技能の向上に努めています。
- ・毎月全職員を対象に開催している「業務研究会」、各部門の会議内で自社および他社の事故事例を共有するとともに、事故発生の原因・背景・対策を学ばせることで事故防止の要点を教育指導しています。

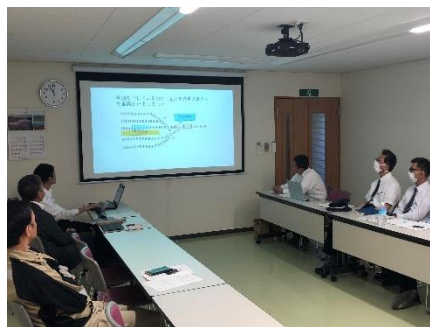
(3) 異常時の訓練

異常時を想定した運転訓練、上田警察署とテロ対策訓練として不審者対応訓練、信号故障時の運転訓練を実施いたしました。

その他列車の脱線事故時に使用する脱線復旧機材の整備使用方の確認や緊急地震速報受信時の訓練等も実施いたしました。



不審者・テロ対策訓練



業務研究会



異常時運転訓練



バリアフリー教育



脱線復旧訓練

(4) 安全推進会議（マネジメントレビュー）の開催

四半期ごとに安全推進会議（マネジメントレビュー）を開催して、過去に発生した運転支障（輸送障害、踏切障害等）の発生状況の再確認と原因・対策について振り返りを行い、対策内容の効果について検証ならびに確認を行っています。

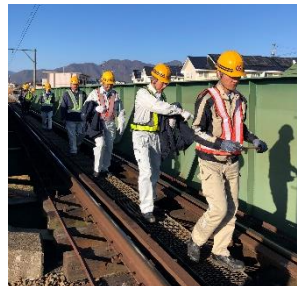
また、事故には至らなかったもののヒヤリとした、ハットしたという情報を社内各職場より収集・共有し、問題の早期発見につなげています。

(5) 輸送安全総点検

夏季および年末年始の点検時、社長、安全統括管理者、役職員による安全巡視で安全確保について確認を行いました。



夏季巡視



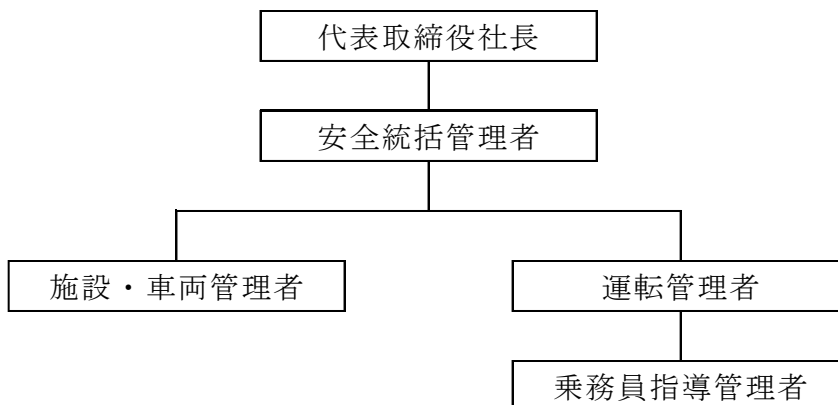
年末年始巡視

(6) 意見交換会等の開催

役職員相互の双方向コミュニケーションを踏まえ、社長・安全統括管理者・運転管理者が業務研究会へ参加し、職場環境の改善や安全意識の向上を図っています。

4. 当社の安全管理体制

代表取締役社長	輸送の安全に関する業務の最終的な責任を負う
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する
運転管理者	安全統括管理者の下、運転に関する事項を統括する
施設・車両管理者	安全統括管理者の下、施設・車両に関する事項を統括する
乗務員指導管理者	運転管理者の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する



5. 発行 2024年 9月

6. 連絡先

安全報告書へのご意見、ご感想をお寄せください。

上田電鉄株式会社

長野県上田市下之郷498

TEL 0268-39-7117 (月～金 9時00分～17時00分)

FAX 0268-38-7951

E-mail unyu@ukg.co.jp